

①匹見小学校でツキノワグマ学習会を行いました！

9月2日(火)に匹見小学校でツキノワグマの学習会を行いました。1～6年生の児童20人が真剣に話を聞いてくれました。最初に「クマって怖いと思う？かわいいと思う？」と質問すると、それぞれで半分ずつくらいの児童の手が挙がりました。その後、クマが柿の木に登る動画や、クリの実を上手に食べる動画を見ると、「かわいい」という声が聞かれました。

匹見町は益田市の中でもクマが身近に生活している地域であり、生徒の中にもクマを見たことがある子がいました。山の中で生きるクマを正しく恐れ、正しく対策していくための方法をわかりやすくお話をしました。

最後にはみんなでクマに突然出会ってしまったときの対処法として、急所である顔とお腹を隠す形で伏せ、首を手で守る防御姿勢を一緒にやってもらい、いざという時の身の守り方を学んでもらいました。



授業の様子



防御姿勢を取る生徒たち

②益田翔陽高校が西部高等技術校で木工体験をしました！

9月5日(金)に、益田翔陽高校総合学科3年生15名が島根県立西部高等技術校にて、林業学習の一環として木工体験を行いました。

当日参加した生徒は、西部高等技術校の教員から工具の使用方法や注意事項について説明を受けた後、各自で事前に準備したデザイン図のとおりジグソーや糸鋸盤を使用し板を切断し、やすりで仕上げを行い、木製ディスプレイスタンドを作成しました。

当日参加した生徒からは、「普段できない体験ができて楽しい」「木はいいなと思った」という感想がありました。

この生徒達は7月に、林業や木材利用に関する講義や製材工場の見学も行っています。

こうした林業学習を通して、今後も林業や木材に関して興味関心をもってもらえたらと思います。



道具の説明を受ける様子



木工体験の様子

③益田翔陽高校総合学科の1年生が林業について学習をしました！

9月19日(金)に、益田翔陽高校総合学科1年生40名に対し林業学習を実施しました。当日は、林業事業体や森林林業に関わるNPO法人に所属する方に講師を依頼し、益田翔陽高校に招きました。

林業事業体の方からは、林業という仕事の説明や同校の卒業生でもある若手社員がその会社を選んだ理由など紹介いただき、NPO法人の方からはこれまで歩んできた人生から、今の森林や林業に関わる職業を選んだ話などしていただきました。

教室での座学の後には、講師がチェーンソーで丸太切りをするのを見た後、希望生徒が丸太切りにチャレンジしました。

講座の最後に、生徒全員がチェーンソーVRを使用し、立木の伐倒を体験しました。

参加した生徒からは、「林業のことを知ることができてよかった」「チェーンソーが楽しかった」などの感想がありました。

今回の講座で、林業への印象が変わった生徒もいたため、林業学習を通して将来林業に関係する仕事への就職につながることを期待しています。



講義の様子



チェーンソー体験



チェーンソーVR体験